

議長

休憩前に続き、会議を再開いたします。

議長

次に、質問順位 4番 9番議員 森脇明美君。

議長

森脇明美君。

森脇議員

通告にもとづきまして一般質問を行います。

これまでの防災対策としての避難所設置や避難体制について質問してきましたが、今回は避難所等の公共施設に置かれているAEDについてお尋ねします。

現在、日本国内に設置されているAEDの台数は推定約60万台といわれており、これは世界No.1の普及率となっています。しかし、日本ではAEDを設置した場所が登録化されていないため、どこにAEDがあるかの把握しきれず、十分に活用できていないという現状があります。AED、自動体外式除細動器は救命処置用の医療機器です。心室細動をおこしている心臓に対して電気ショックをあたえ正常なリズムを取り戻させます。日本国内において、1年間に救急搬送され心原性心肺停止、これは心臓に原因がある心肺停止ですが、この傷病者数は約7万5千人に上ります。一方で1年間の交通事故死者数は約4千人。つまり心肺停止は交通事故死よりも発生件数が多く、1日に200人以上の方が突然の心肺停止によって救急搬送されています。傷病者の近くに居合わせた私たち一般人がAEDによる除細動や心肺蘇生の救命措置を行うことで、救命の可能性は上がります。除細動による救命率は、1分ごとに10%低下するとされ、傷病者の命を救うためには1分1秒でも早くAEDを使用することが求められています。胸骨圧迫をすることしないのとでは救命率は約2倍違います。AEDを用いて電気ショックが行われれば約6倍の人の命を救えます。しかし、日常生活ではAEDへの関心が低くどこに設置されているのか分からない住民が多いと考えます。

緊急事態はいつどこで発生するか分かりません。

そこで改めて和木町のAEDの設置場所について伺います。

議長 渡邊企画総務課長。

渡邊企画総務課長 森協議員お尋ねの、現在町内の AED の設置箇所につきましては、和木小学校に3個、総合コミュニティセンターに1個、保健相談センター1個、体育センターに2個、文化会館に1つ、和木中学校に1つ、蜂ヶ峯公園は2個、役場に1つ、こども園に2個、瀬田分館、関ヶ浜分館に各1つ、合計11ヶ所に16個設置済みでございます。あと和木駅には不二ビルサービスの方で1つ管理、置いているということ聞いております。

議長 森脇明美君。

森脇協議員 今、設置場所について伺いました。つまり AED が11ヶ所に16個設置されているということですが、それぞれの設置年数も併せて伺います。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 設置した年数、これ平成19年度から各公共施設に AED を導入し始めております。

行政機関が AED を設置する場所としては利用者が多い場所、あるいは心停止が起こるリスク、発生頻度が高いと思われる場所などから設置すべきと考えておりました、先にお答えした必要性が高いと考えられる施設に設置しているところでございます。耐用年数又は使用期限に沿って、従って適宜買い替え、更新を行っております。

議長 森脇明美君。

森脇協議員 場所と年数については確認でき、町内には多くの AED があり利用されれば安心が高まると思います。

ここで一つの事例を紹介します。

2019年7月24日の10時半ごろ、連日の猛暑が続く埼

玉県春日部市で AED を必要とする緊急事態が発生しました。

粗大ごみ収集車作業中の40代の作業員の男性が卒倒して心肺停止になったのです。同僚が急いで119番通報し救急車を呼び、もう一人の同僚が胸骨圧迫を始めました。地域を回っていた可燃ごみ収集車が近づいてきたので応援を頼みました。春日部市では可燃ごみ収集車へ AED を搭載しています。運転席に常備している AED を手に取りすぐ駆けつけました。同僚は胸骨圧迫と人工呼吸、もう一人が AED による電気ショック。このような応援要請で安全確保と救命連鎖が行われ同僚の命も救うことができました。このような AED を使った事例が本町にもありますか。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 本町で導入した AED は、現在までのところ使用したことがございません。

ただ、救急車の中にも AED がありますので、救急搬送の途中に救急隊員が使用したことはあると聞いております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 本町では事例がないということで理解いたしました。

先ほど町内での AED 設置場所を伺いましたが、ほとんどが公共施設となっています。では、AED 設置施設が休館日の場合の対応はどう考えておられますかお尋ねします。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 AED 設置施設の休館日にその施設に人が多く集まるという事態はそう多くはないとは思いますが、人が倒れた、こういったような緊急事態のときにはですね、まずできるだけ早く119番通報をして救急車を呼ぶことが重要かと思えます。特に心停止などの場合、心肺蘇生法を行うことが重要で、119番通

報をすると消防職員が必要な応急手当の仕方を教えてくれますので、それに従って手当をお願いしたいと思います。

なお、体育センターには持ち出し用の AED がありますので、部活やクラブの大会で遠征するときに持っていくことは出来るようになっております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、119番通報や持ち出しができるのがあるということでしたが、やはり休館日はほとんどの公共施設が閉まっていれば AED を利用することが出来ないということです。

先ほど事例で紹介しました春日部市には、ごみ収集車に AED を搭載しています。このように日常的に町内を移動している車、例えば公共施設が休館の場合でも有効と考えます。例えばあいあいバスに AED を搭載するつもりはありませんか。

議長 渡邊課長。

渡邊企画総務課長 あいあいバスではなくて、民間のバス会社ではですね、貸切バスや高速バスを中心に車内に AED を設置している事例はありますので、本町のあいあいバスの車内への設置自体は可能かと思えます。ただし、本町の場合、岩国地区消防組合東出張所が非常に近い場所にあるという地理的条件もありますので、AED を車内に設置することの有効性についてはそれらとあわせて、考えてみる必要があると思っております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、AED 設置施設の休館日の対応や、移動式の車に AED を搭載できないか伺いました。それでは、この AED 16 個の維持管理の費用は年間どれぐらいかかるでしょうか。

議長 渡邊課長。

渡邊企画  
総務課長 AEDの維持管理費用ですが、AED自体は備品として購入しておりますので、毎年発生する費用というものはございませんが、バッテリーやパッドなどは消耗品でありますので、数年に一度更新、まあ耐用年数がありますので、更新をしております。その時に発生する費用としては、バッテリーが約4万円、電極パッドについては3万円程度の費用が掛かります。

議長 森脇明美君。

森脇議員 バッテリーの交換についても理解いたしました。  
現在コロナ禍でAEDの講習が、なかなか出来ないという状態が考えられますが、講習受講者の現状と今後の普及活動についてお尋ねします。

議長 渡邊課長。

渡邊企画  
総務課長 和木町では年に一度、職員や会計年度任用職員、あとは町営プールの監視員の方、こういった方々を対象に普通救命講習を開催しています。岩国地区消防組合の職員が講師として来て、AEDや心肺蘇生法の練習や説明を受けております。これについては、今後も継続して、住民の方にも周知して継続して講習を開催してまいりたいと思っております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 講習受講者の現状と普及活動については理解いたしました。  
AEDの必要性は、今後もじゅうぶん高いと思われまますので、いざという時の為にも、今後AEDの講習普及活動を進めて行ってほしいと思います。

次に町制施行50周年について伺います。本町は江戸時代には岩国藩の配下であり、明治の廃藩置県の際には、小瀬、和木、関ヶ浜、瀬田の4村を統治して小瀬川村となり、明治32年に小瀬村と分離して和木村が誕生、昭和48年に町制施行し和木

町となりました。また、日本初の石油コンビナートの町としても脚光を浴び、平成20年に周辺地域の拠点となるJR和木駅が開業しました。交通の利便性が改善され、和木町の魅力も向上しました。来年、令和5年、町制施行50周年の節目を迎えるにあたり、実施される記念事業の内容を伺います。

最初に町制施行30周年・40周年の記念事業の内容と経費について伺います。

議長 渡邊課長。

渡邊企画  
総務課長 まず、町制施行30周年記念時の事業内容についてお答えします。主な事業としましては、記念式典、町史の作成、和木美術館のオープン、広島交響楽団の演奏会、このほか、文化協会等の各種団体に対する補助金を増額し、冠事業を開催していただいております。予算総額としましては、和木美術館の建設費を除くと約2千万円程度でございました。

続いて、町制施行40周年記念時は、こちらも主な事業としましては記念式典は開催しております。その他、元プロ野球選手落合博満氏の講師による講演会、平山郁夫版画展、乙武洋匡氏による人権講演会のほか、各種団体に対する補助金を増額し、冠事業を開催していただいております。こちらも予算の総額としましては、約2千万円程度ということでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、30周年・40周年の記念事業の内容と経費を伺いました。今回は、町制施行から半世紀の50年という大きな節目を迎えるに当たり、これまで和木町を築いて来られた先人への感謝を込め、町の歴史を考えながら産業や文化、生活の記念誌を作成してはいかがでしょうか。

議長 渡邊課長。

渡邊企画  
総務課長 町制施行50周年を記念しての記念誌の作成についてでございますけれども、現在、来年度開催する記念事業についての検討を検討委員会やワーキンググループの方で行っております。先人への感謝や、町の歴史や文化に触れる機会を設ける企画についても、案としてあがっております。

議員のおっしゃる記念誌についても、先人への感謝をお伝えする一つの方法かと思いますが、本年度から既に作成に着手しております町勢要覧の中で、和木町の50年のあゆみについて掲載する予定としております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 町勢要覧っていうことでしたので、また10年後・20年後の和木町の将来を見据え、住民参加型のイベントの企画も併せて考えられないでしょうか。

議長 渡邊課長。

渡邊企画  
総務課長 9月に決定いたしました町制施行50周年記念事業の基本理念では、町民一人ひとりが主人公として祝い、すべての人が笑顔にあふれ、わきあいあいと楽しむことができる事業を開催することとしております。この理念に沿ったかたちでの町民参加型のイベントの企画を検討しております。具体的な内容はまだ検討段階でございますとお示しすることはできませんが、小さなお子様からご高齢の方まで、全ての町民の皆さまがいずれかに参加できるような内容のイベントを検討しており、新年度予算の説明の中で皆さまにお示しする予定でございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議長 森脇明美君。

森脇議員 いろいろ企画されているようですが、町制施行50周年記念式典が盛大かつ、心に残るイベントになることを期待し、次の

質問にうつります。

以前にも蜂ヶ峯総合公園の現状と今後についてお尋ねしましたが、町民の方から要望がありましたので再度質問します。

和木町第5次総合計画によれば、本町の観光入込客数目標は2025年に年間25万人を打ち出しています。そのため、町は企業誘致による新たな雇用の創出や商工会と連携し、新規創業支援や事業継承等、商工業の発展・活性化に向けた支援を推進しています。また、観光資源である蜂ヶ峯総合公園は年間を通じた来場者を確保するため、地域おこし協力隊による観光素材の開発やにぎわい事業による総合事業の活性化を促進しています。令和3年4月にBee+エリアが完成し、子ども広場もレストランも多くの人々が来園され、にぎわい作り、観光拠点の魅力向上に一役買っています。しかし、公園管理棟側付近に目を向けてみると、公園遊具やキャンプ場等、年数が経過し老朽化が表れています。そこで、蜂ヶ峯総合公園の現状と今後について伺います。

最初に、蜂ヶ峯総合公園管理協会の人数体制と運営状況について伺います。

議長 山下都市建設課長。

山下都市建設課長 蜂ヶ峯総合公園の人数体制、運営状況ということですがけれども、令和元年度から正規職員を増員いたしまして、正規職員2名、臨時職員7名の体制で現在運営しております。また、草刈りや剪定業務などについてはシルバー人材センターを活用しておる状況でございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 整備等は、町のシルバー人材センターへ依頼して行われるということですが、どのような作業内容でしょうか。お伺いたします。

議長 山下課長。

山下都市建設課長 シルバー人材センターの作業内容ですけれども、主にバラ園や園路沿いの草刈、剪定に加えまして、イベント時の駐車場整理や動物の飼育等を行っている状況でございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 公園は随分広いですが、シルバー人材センターの方々に間に合っているのでしょうか。お尋ねいたします。

議長 山下課長。

山下都市建設課長 議員のおっしゃるとおり蜂ヶ峯総合公園大変広く植栽も多い公園でございます。シルバー人材センターの委託のみですと、年間を通した公園全体の植栽管理、剪定業務などを完全に行うということは非常に難しい状況ではございますけれども、シルバー人材センターでの対応が困難な高木の植栽管理や高所作業を伴うものにつきましては、今後民間業者への委託も含め対応して参りたいと考えております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 公園が広く、シルバー人材センターの方々では、整備がなかなか追い付かないということも分かりました。今後は、民間業者への委託も考えていただけるということで理解いたしました。

では、昨年開園した Bee+エリアの利用状況と遊具の現状について伺います。

議長 山下課長。

山下都市  
建設課長

Bee+エリアの状況でございますが、令和3年度のBee+エリアの利用者数を申し上げますと、交流棟及び付属エリアの利用者が約4万人、こちら有料施設の利用者ということになりますけれども4万人。レストラン棟の利用者が約2万8千人、合わせて約6万8千人の利用がございました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてる状況で、利用制限もかけたことにも関わらず想定を上回る利用者となっております。

続いて遊具の現状でございますけれども、Bee+エリアの遊具につきましては、Bee+開業とともに一新されておりました、今年度はバッテリーカーも4台新たに更新いたしております。

しかしながら、Bee+エリア以外の有料遊具については、ちょっと老朽化したものが多く、安全面やメンテナンスの費用の増大に大きな課題を抱えているという状況ではございます。

議長

森脇明美君。

森脇議員

このBee+エリアですがどのような世代の方が多いでしょうか。

議長

山下課長。

山下都市  
建設課長

Bee+エリアを利用する世代についてですけれども、休日であれば、ふわふわドームをはじめバッテリーカーや低年齢の子どもに向けた遊具も整備しておりますので、ファミリー層の利用が多いように感じております。

議長

森脇明美君。

森脇議員

Bee+エリアは今ファミリー層の方が多いと伺いました。

Bee+エリアは日常利用客が多く、週末や祭日などはイベントも開催され大変賑わっていますが、利用客がBee+エリアから、うさぎ小屋やローラー滑り台、SL等に移動し時間を過ごされることもあると思います。人気のローラー滑り台は、現在、

リフトが故障のため階段を利用しないといけません。小さいお子さん連れのお母さんや、おじいちゃん、おばあちゃんには、この階段は大変厳しいようです。リフトは撤去されると聞きましたが、修理して再利用はできないのでしょうか。

議長 長 山下課長。

山下都市建設課長 ご指摘のローラー滑り台で上がるリフトについてなんですけれども、こちらの方、修繕であるとかそういったことも以前には検討は行ってはおるところではございますけれども、改築等考えますと多大な費用が掛かるということもありまして、平成27年度にですね、現在のコンクリート製の階段を整備したところでございます。早急な整備とかはちょっと困難な状況ではございますけれども、将来的なローラー滑り台の改築にあわせた再整備を検討してまいりたいと考えておるところでございます。

それとリフトカーについてですけれども、早急な対応は困難であるというふうに言いましたけれども、現在使っていないリフトカーのゴンドラの部分につきましては撤去をいたす予定としておりまして、あわせて周辺の整備も今年度中に実施する予定でございます。

議長 長 森脇明美君。

森脇議員 工夫され、いい方策があり、高齢者の方もお孫さんと一緒にローラー滑り台の利用が出来ることを望みます。

このローラー滑り台に併設されている、冒険の森はなかなか維持管理整備が大変なようですし、バラ園の先にある梅林の整備も難しいように思いますが、最近出来た阿武町キャンプフィールドや秋吉台オートキャンプ場のようなグランピング的な施設は考えられないでしょうか。

議長 長 山下課長。

山下都市  
建設課長

議員がおっしゃる要望につきましては、これまでも多く承  
っておるような状況でございます。蜂ヶ峯総合公園ですけれど  
も、現在も開園から35年を迎えておりまして、様々な施設が  
改修時期を迎えているような状況でございます。既存施設の改  
修につきましては、中長期的な計画が必要となるので、現在都  
市建設課内で検討委員会を設けまして、協議を行っている状況  
でございます。先程のご意見も踏まえたりリニューアル計画を作  
成してまいりたいと考えております。

議 長

森脇明美君。

森脇議員

いろいろ検討がなされていますが、今一度考えていただき、  
遊具も選択し改造できる場所の整備をお願いします。

このように Bee+エリアは多くの来園者で賑わっています。

レストランも順調にお客さんがみえています。しかし、管理  
棟側は遊具等が35年以上も経過し、老朽化が見られます。

このような中、蜂ヶ峯総合公園管理協会と地域振興協会の連  
携はどのようになっていますか。

議 長

山下課長。

山下都市  
建設課長

管理協会と地域振興協会との関係ということですが、  
Bee+エリア全体の運営につきましては、施設の所有者であり  
ます公園管理協会が地域振興協会と管理委託契約を締結しま  
して、運営を任せておるという状況でございます。

その上で、和木町の都市建設課と公園管理協会、あと地域振  
興協会やレストランを管理しておるメイプルシティ等の運営  
者が一堂に会します運営者会議を定期的を開催しており、お互  
いの相乗効果を図るべく、公園の課題やイベント等の情報を共  
有し協議しておるところでございます。

議 長

森脇明美君。

- 森 協 議 員 双方が、管理委託契約を結ばれ、その上で、和木町都市建設課、公園管理協会、地域振興協会、メイプルシティが一堂に会し、運営者会議を定期的開催され、相乗効果が図られているということで安心しました。
- 最後に町長に伺いたいと思います。町長は、町唯一の観光資源である蜂ヶ峯総合公園の今後をどのようにしたいと考えておられますか。
- 議 長 米本町長。
- 米 本 町 長 森協議員さんから、今後の蜂ヶ峯総合公園、どのようにしていきたいかというご質問でございます。
- 基本的には、先程建設課長が申し述べましたとおり、いろんな計画を段階的に、段階を踏まえてつくっていき、なるべくきれいにしていくことが重要だというふうに考えております。しかしながら、先程のリフトカー1つにとりましても億単位のお金が掛かるということでございます。なかなか一朝一夕に物事が進んでいく訳ではありませんけれども、できるところからきれいな整備をして行きたいというふうに考えておるところでございます。
- 議 長 森協明美君。
- 森 協 議 員 今後の蜂ヶ峯総合公園がよりよくなるよう、現在、進められているリニューアル計画に期待し、一般質問を終わります。
- 議 長 再質問がないようですので、以上で森協明美君の一般質問を終わります。